

母子看護学特論

単位数：2単位

秋鹿 都子：臨床看護学講座准教授

橋本 美幸：臨床看護学講座准教授

1. 科目の教育方針

ライフサイクルと生涯発達の見点から、子どもと母親・家族が抱える身体的、心理社会的な問題を理解し、QOLの向上ならびに健全な発達を促すための支援について探求する。そのために関連する概念や理論、母子保健・福祉の現状・課題について学習する。

2. 教育目標

- 1) ライフサイクル、生涯発達に関する概念や理論について理解することができる。
- 2) 母子保健・福祉の現状と課題について理解することができる。
- 3) 子どもと母親・家族を取り巻く現代の社会状況を多面的に理解し、身体的、心理社会的側面の問題について説明することができる。
- 4) 子どもと母親・家族のQOL向上ならびに健全な発達を支援するために、諸理論を活用して、看護の果たす役割と援助方法について検討することができる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) 講義および学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。
- 2) 子どもと母親・家族のQOL向上と健全な発達を促すための支援について議論を深める。

【評価】

講義への参加状況、プレゼンテーション内容、レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

講義の中で適宜紹介する。

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	日本における周産期医療の現状と課題	橋本
2	産科医療補償制度	橋本
3	出生前診断に関する検討	橋本
4	ペリネイタルロス	橋本
5	日本における母子保健・福祉の現状と課題	秋鹿
6	子どもと家族の理解と理論	秋鹿
7	発達理論（エリクソン、ピアジェ等）と看護への活用	秋鹿
8	発達理論（エリクソン、ピアジェ等）と看護への活用	秋鹿
9	発達理論（エリクソン、ピアジェ等）と看護への活用	秋鹿
10	愛着理論（ボウルビー等）と看護への活用	秋鹿
11	ストレス・コーピング理論（ラザルス）と看護への活用	秋鹿
12	セルフケア理論（オレム）と看護への活用	秋鹿
13	自己効力感（バンデューラ）と看護への活用	秋鹿
14	家族発達理論と看護への活用	秋鹿
15	家族発達理論と看護への活用	秋鹿